



7月31日の午後遅く、北軽井沢のA子さんの別荘に総勢5名が集まりました。4か月ぶりでお会いして、「なつかしいわ〜」と言って再会を喜びました。私たちは4年ぶりにお訪ねいたしました。ここの空気は緑のシャワーを通ってくるせいか、本当に爽やかで涼しいです。リビングのベランダから見えるものは、アカマツ、白樺、カラマツの林、またシャクナゲや山野草だけです。木洩れ日がやさしいです。

さて、「女三人寄ればかしましい」とよく言います。四人でしたから、どうなることかと思いますが、私たちは全員秘訣を心得ていて、何の問題もありませんでした。A子さんは働き者で、他の人に気づかれないうちにテキパキと家事をこなしてしまうマダムです。また、その親友B子さんは何度も別荘に来ているので、どこに何があるか把握していて、サッと行動します。生まれ月違いで最年長との名誉称号を得ているC子さんはエプロン持参で、気合が入っています。そんな先輩に囲まれて私は幸せだなあ〜。

8月1日、朝日を受けて、ベランダで食べる朝食の飛びっきりの美味しさ！キャベツとトウモロコシの甘さはここでなければ味わえない特別の味です。食前に感謝と留守の家族のために祈りを合わせました。本を持ってきた夫を独り残して、女性群はそろって出かけました。

まず、明日の音楽会のチケットを買いました。群馬交響楽団とのコラボで音楽会があり、A子さんとB子さんはそれを毎年楽しみしているのです。次にブルーベリー畑に。B子さんはブルーベリーを摘みたかったのですが、畑の主は素人に畑を台無しにされるのがお嫌のようで、朝採りのパック詰めを販売していました。B子さんはさっそく沢山求めました。粒がそろって大きかったし、ジャムにしたいのでしょうか。もう楽しみで、ワクワクしています。C子さんと私は帰宅の日に近所の直売所で買う予定にしました。



それが終わってラベンダー畑へ行きました。ラベンダーが一面に咲いていて、香りを放っていました。その後ろにバラをはじめとした様々な種類の花の庭があり、そこを回ってみるのも楽しいものでした。けれども直射日光の下では、軽井沢と言っても暑い！さっそくラベンダーを摘み始めました。一人300円で30本少々とのことでした。おもいおもいに陣取って摘み始めましたが、蜂がブンブンまわりつくるので、私は逃げ回ってしまいました。摘み終わって束にした時、その量の違いに茫然となりました。私は30本+アルファ、私の3倍以上持っているB子さんとC子さん、そしてA子さんは鎌を持って入ったの？といぶかしく思うほどの大量の束でした。同じ時間内でこんなに差が出るなんてと驚いてしまいました。主婦としての生活力の違いをまざまざと知らされました。

畑の横には、ハーブをモチーフにして、雑貨屋を兼ねたパーラーがありました。B子さん、C子さんは熱心に雑貨を見て回って気に入ったグッズを求めました。私はラベンダーソフトクリームが気に入りました。みんなも舐めながら、風に吹かれて、よもやま話で盛り上がりました。

帰路は早めの夕食のバーベキューの材料を買いにスーパーへ。好き好きや、家族の習慣や、主婦としてのやり方がそれぞれ違うので、この場面になると強烈な個性と個性のぶつかり合いがあります。秘訣と食欲に従って、事なきを得ています。秘訣とは？ 『隣人を**自分のように**愛しなさい。』